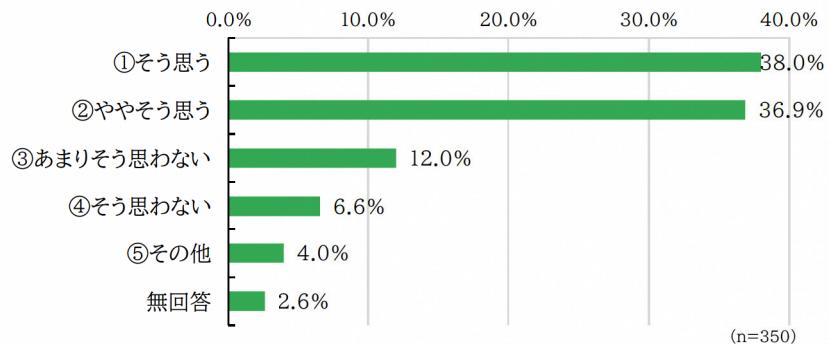


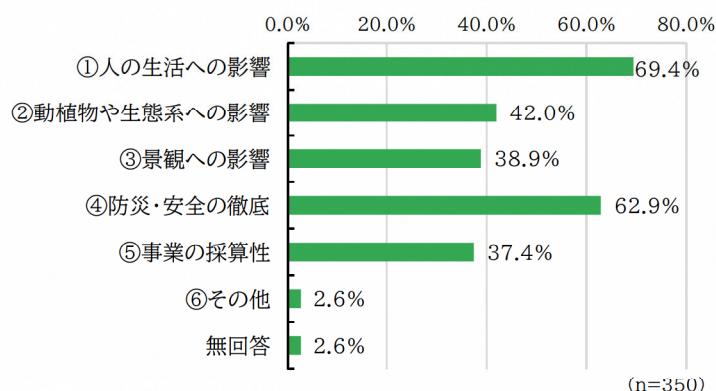
III-5 【ゾーニングによる太陽光発電の導入を進めていく方法は適切と思うか】単一回答

「そう思う」が最も多く、続いて「ややそう思う」となっており、7割以上が概ね同意の意向があることが伺える。



III-6 【ゾーニングを行う際に着目するべきもの】複数回答

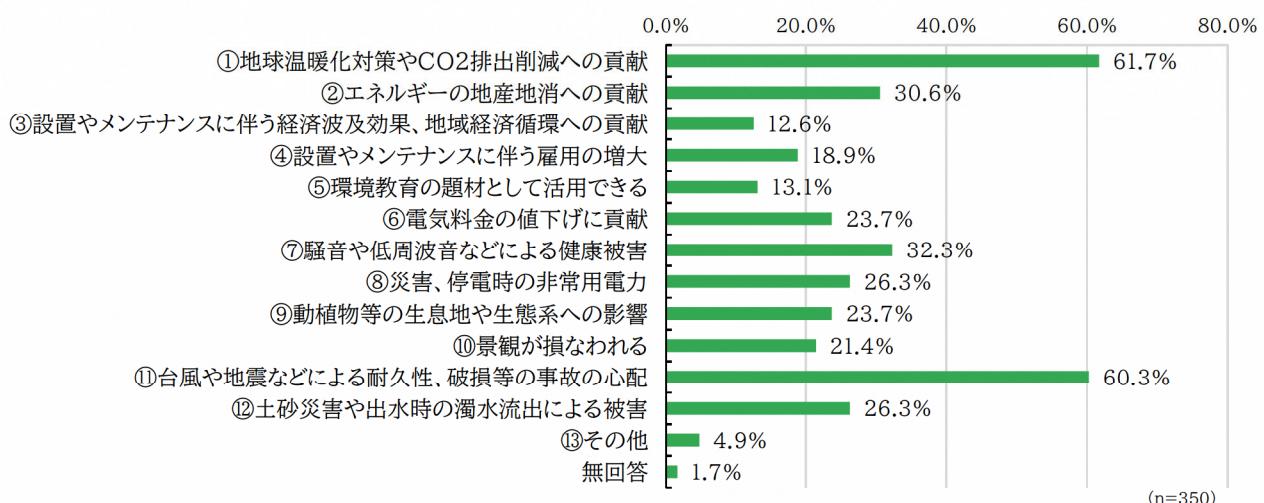
「人の生活への影響」が最も多く、続いて「防災・安全の徹底」となっている。いずれも6割以上の回答があり、重要視すべき項目であることが伺える。



IV. 風力発電に対する印象やイメージについて

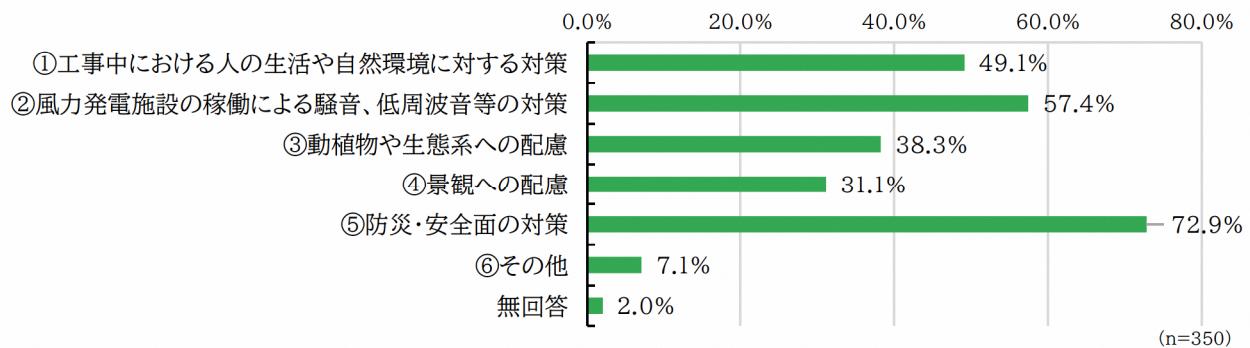
IV-1 【風力発電に対して、どのような印象やイメージを持っているか】複数回答

「地球温暖化対策やCO₂排出削減への貢献」が最も多く、続いて「台風や地震などによる耐久性、破損等の事故の心配」となっており、太陽光発電のイメージと同じ傾向が見られる。

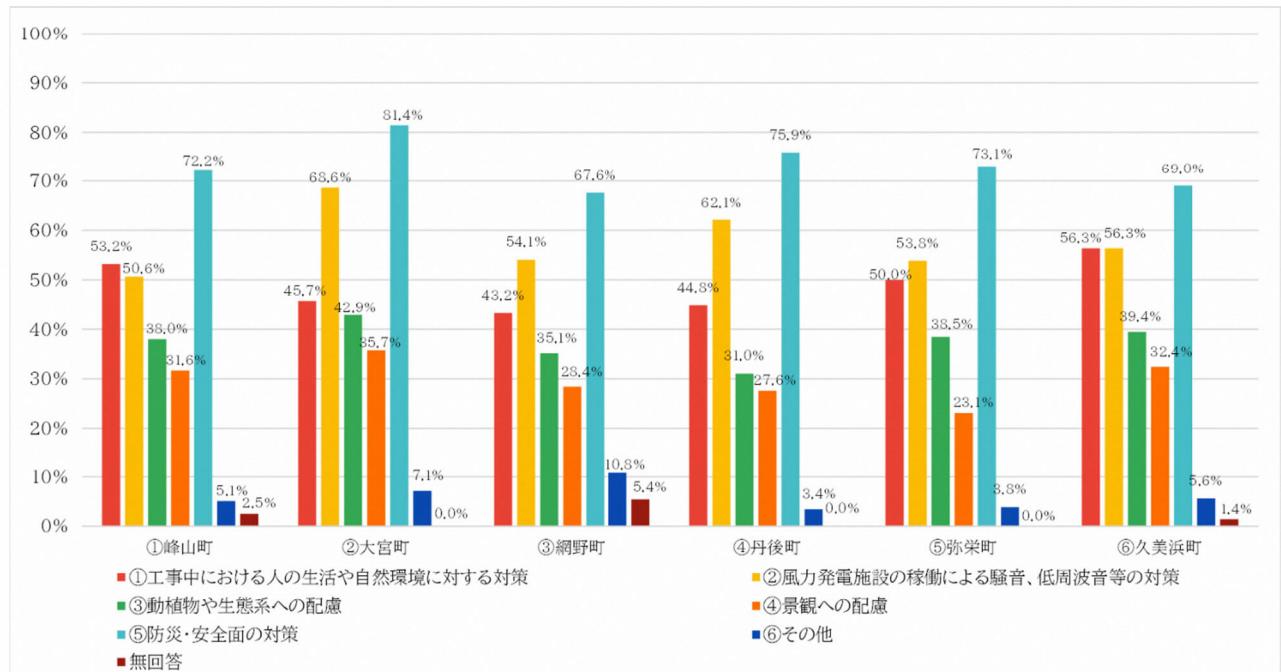


IV-2 【風力電施設を設置する際の留意事項】複数回答

「防災・安全面の対策」が最も多く、回答者の7割以上が選択している。続いて、「風力発電施設の稼働による騒音、低周波音等の対策」となった。

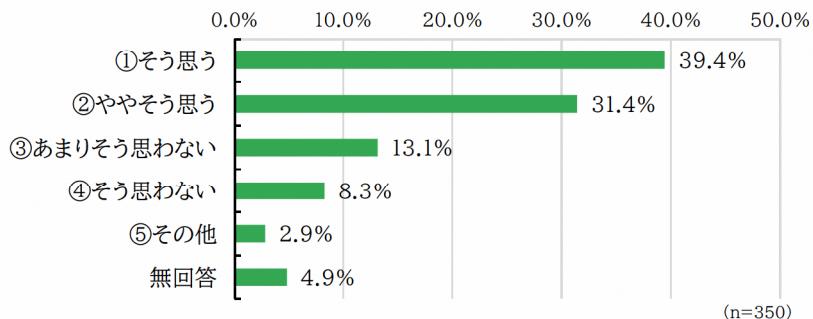


また、地区別にみると、太陽光発電と同時に全ての地区で「防災・安全面の対策」が最も高くなっている。続いて、5地区において「風力発電施設の稼働による騒音、低周波音等の対策」が回答の多い事項となっており、身近な生活環境への配慮が求められていると考えられる。



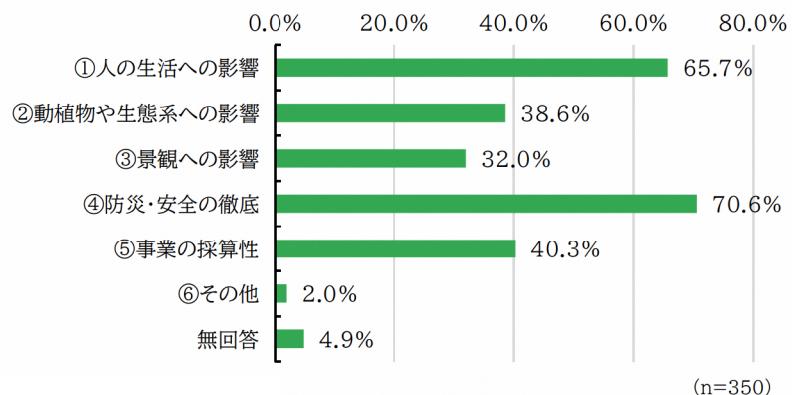
IV-3 【ゾーニングによる風力発電の導入を進めていく方法は適切と思うか】単一回答

「そう思う」が最も多く、次に多い「ややそう思う」との回答を合わせると約7割が概ね同意の意向があることが伺える。



IV-4 【ゾーニングを行う際に着目するべきもの】複数回答

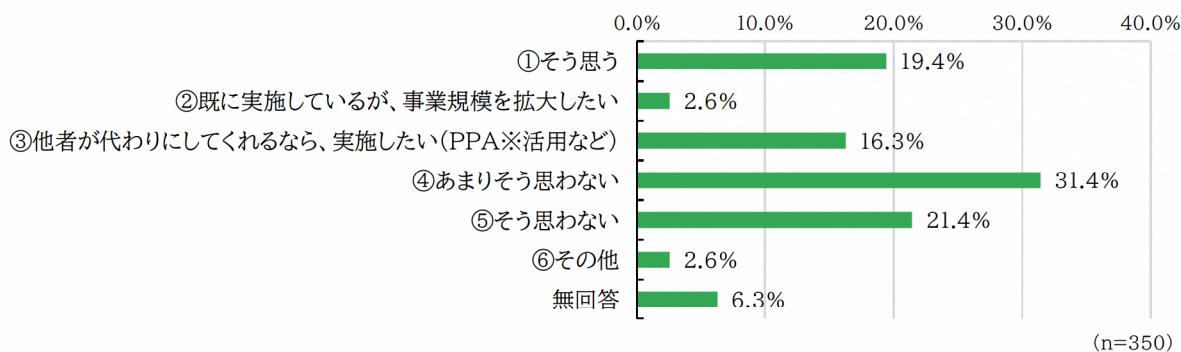
「防災・安全の徹底」が最も多く、続いて「人の生活への影響」となっており、いずれも6割以上の回答があった。太陽光発電と同様の傾向が見られることが伺える。



V. 再生可能エネルギー事業の実施について

V-1 【再生可能エネルギー事業を実施したいと思うか】単一回答

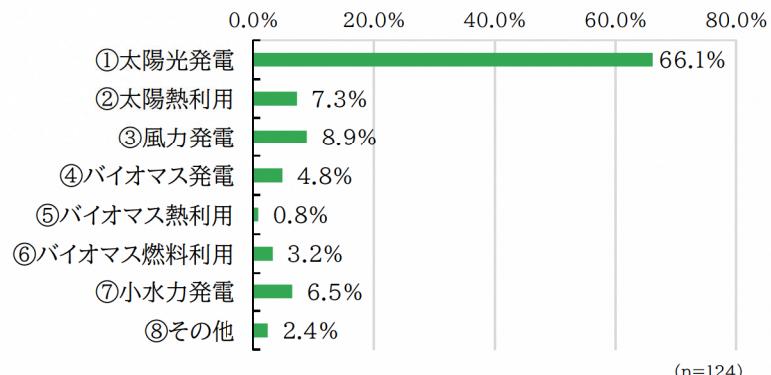
「あまりそう思わない」が最も多く、続いて「そう思わない」となっている。再生可能エネルギー事業の実施意向は低いことが伺える。



※ P P A : 発電事業者（PPA事業者）と需要家（電力使用者）との間で結ぶ契約モデル。PPA事業者が、需要家の敷地や建物のスペースに、PPA事業者の負担で太陽光発電設備を設置・維持管理して電気を供給する事業モデルのこと。

V-2 【どのような再生可能エネルギーを実施したいか】単一回答

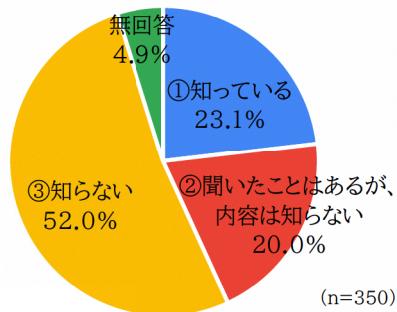
「太陽光発電」が圧倒的に多く6割以上となった。ほかの事業はいずれも1割未満となっている。



VII. 農地の有効活用について

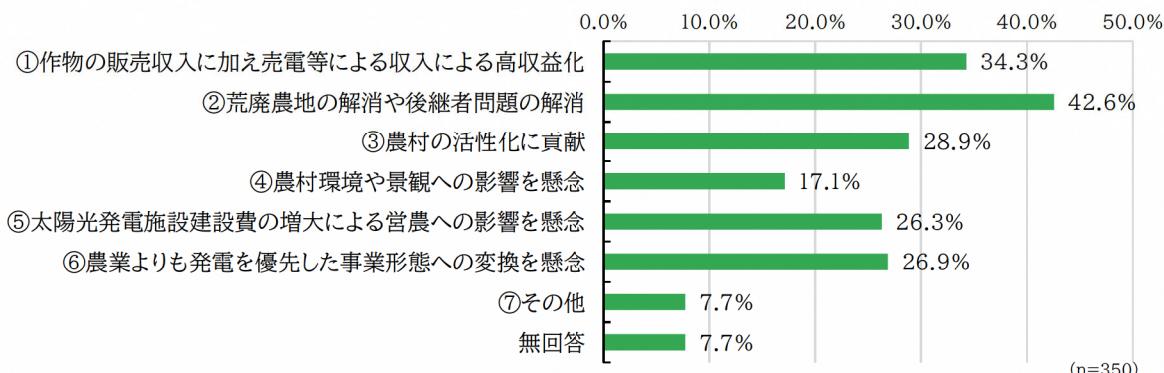
VI-1【ソーラーシェアリングのような取り組みについて知っているか】単一回答

「知らない」が最も多く、続いて「聞いたことはあるが、内容は知らない」となっており、この2つの回答を合わせると7割以上の回答となった。



VI-2【市内にソーラーシェアリングの施設が設置された場合どのように思うか】複数回答

「荒廃農地の解消や後継者問題の解消」が最も多く、続いて「作物の販売収入に加え売電等による収入による高収益化」となった。ソーラーシェアリングについて肯定的な考えが多いことが伺える。



VIII. 自由意見

350名の回答者のうち、69名から意見や要望があった。意見の区分は以下のとおりである。

- ・取り組みの方向性等に関するご意見・ご要望 【29件】
- ・再生可能エネルギーの導入推進に懐疑的なご意見、もしくは進めていく上での条件に関するご意見 【30件】
- ・再生可能エネルギーの導入コスト・収支に関するご意見・ご不満等 【3件】
- ・その他のご意見 【7件】